

教科指導講座報告

道東ブロック
情報科

令和2年11月11日
(主管教育局 釧路教育局)

令和2年11月11日（水）、北海道白糠高等学校を会場に、道東ブロック（オホーツク、十勝、釧路、根室管内）の情報科の授業改善セミナー（教科指導講座）を開催しました。釧路管内を中心に道東ブロックの各管内から講師1名を含め20名の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、先生方の授業改善の参考として御活用ください。

教科指導講座の概要

テーマ

「新学習指導要領の趣旨を踏まえた主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」

本講座の概要

1 講義（新学習指導要領と情報教育）

【ねらい】 未来社会に求められる資質・能力の育成について理解を深めるとともに、それらの資質・能力を育成するために、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業づくりを考察するための糸口とする。

【内容】 改訂の趣旨説明及び自己課題の明確化



2 実践発表

【内容】 科目「情報の科学」におけるクラウドサービスを活用した授業の紹介及びGoogleClassroomを使った演習等を実施した。

3 ワークショップ

【内容】 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して、問題の発見・解決を行う指導方法を中心に、演習や協議を実施した。

4 研究協議

【内容】 本日のセミナーを踏まえ「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について、これからどのように準備を進めていくかについて協議を実施した。

本講座の実施により期待される成果

- 課題解決に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 実践的な「教科指導力」の向上
- ICTの活用、各学校における授業改善の視点の拡大

教科指導講座の実施状況

講義

新学習指導要領改訂の趣旨等に関する説明を踏まえ、参加者の授業改善に向けた現状等をワークシートにまとめ、自己の課題等の明確化を行った。その後、参加者が抱えている課題等について全体で共有を図った。



実践発表

教科指導スペシャリストである北海道帯広緑陽高等学校の宮川尊充先生から、クラウドサービスを活用した指導実践等を紹介や演習を行っていただいた。



ワークショップ

問題解決にコンピュータを積極的に活用しようとする態度、結果を振り返って改善しようとすることを通じて情報社会に主体的に参画しようとする態度を養う指導方法について、統計分析に関する指導例を通じて、意見交換等を行った。



研究協議

参加者の課題等について本セミナーを通じて解決の方策が見出せたか、見出せない場合はどのような見通しをもって解決に向けて取組かについて協議を行った。



教科指導講座参加者の声

参加者の声

- ・すぐにでも実践できる内容であることから、とても参考になりました。
- ・具体的な指導例を教えていただき、とても参考になりました。
- ・クラウドサービスを知ることができ、勉強になりました。
- ・科目「情報Ⅰ」の実施に向けた取組をはじめたいと思いました。
- ・グループワークを通して、参加者と情報交換を深められたことが良かった。

参加者アンケートの結果（一部）

- 本講座で紹介した教材や指導方法は、あなたの授業において活用できますか
 - ・大いに活用できる。 36.8%
 - ・活用できる。 52.6%
- 本講座は、あなたの授業実践力の向上に役立ちましたか。
 - ・大いに役立った。 42.1%
 - ・役だった。 57.9%

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

< 釧路教育局ウェブページURL >

http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/krk/koukouhan_tusin.htm